

# 我国の戦前・中の胸部外科の報告 (日外会誌より)

## — 胸部外科学会発足まで —

- | 年 回     | 論説, 演説とその要約   |
|---------|---|
| 明治33~34 | 2 食道癌に施したる胃瘻患者の「デモンストラチオン」: 小山 善<br>嚥下困難を訴え, 癌腫による食道下部狭窄症例に対し胃瘻造設, 後療法, 解剖報告 (4 症例)   |
| 34~35   | 3 胸部銃創に就て: 富田忠太郎<br>日清戦争での胸部銃創15例報告, 内肺損傷11例, その他膿胸, 気胸合併に対する穿刺, 排膿治療についての報告  |
| 36~37   | 5 肺壞疽の外科的手術治験: 江口 襄 (三重)<br>肺切開で治療, 壞疽部の切開には胸膜癒着が必要, 癒着なき場合には人工的に作成   |
| 40~41   | 8 肺膿瘍の2例に就て: 古賀亥二郎 (盛岡)<br>蛔虫による肺膿瘍例で1例治癒, 他の1例死亡<br>胸廓射創に継発せる12の症例に就いて: 黒岩 徳明<br>日露戦役に於て銃砲創 (銃創 6,401人, 砲創 2,191人) の内胸廓に銃砲創を蒙りしもの 1,216人, 14.15%, 内 142人について創の概要を述べ, 動静脈瘤, 膿胸について報告<br>肋骨肉腫2例: 阿部 資夫 (東京)  |
| 42~43   | 10 膿胸の療法に就て: 黒川 健士 (東京)<br>食塩水で洗浄, 30~120mmHg 陰圧で持続吸引   |
| 43~44   | 11 陳旧性膿気胸に対する胸廓切除術の経験: 赤岩 八郎 (福岡)<br>膿気胸に対する手術はシェーデ氏法を第一とする. しかし不能例にはジモン氏法を行う.<br>肺気腫に対するフロイド氏手術: 平野 友作 (伊勢)  |
| 44~45   | 12 (宿題報告) 全身麻酔: 中山 茂樹 (東京)<br>2 症例報告効果<br>麻酔薬, 抱水クロラル, プロムエチール, 笑気, クロールエチル, エーテル, 嚙嚙仿<br>謨麻酔薬による術式, 深度, 薬理作用, 嚙嚙仿謨酸素混合麻酔が安全, 次いで1909年の<br>Melter, Auer (米) の気管内麻酔の紹介.<br>乳腺に於けるバアジェット氏病の1例に就て: 関口 蕃樹 (東京大)<br>縦隔竇皮膚様囊腫の手術例: 茂木蔵之助 (東京大)<br>2 例報告, 内1例死亡. |
| 45~46   | 13 乳癌の骨転移の1例: 林 文 (京都)<br>肺動脈の結紮に由る人工的肺萎縮に就て: 河村 叶一 (京都)<br>家兎, 犬の下葉動脈結紮, 組織検査, 人工的肺結核に有効であった.<br>乳癌と卵巣摘出術: 久留 春三 (山田)<br>摘出前後の癌腫細胞核小体を比較.  |
| 大正2~3   | 14 乳腺に発生する良性腫瘍に関する知見補遺: 鈴木平十郎 (京都大)<br>12例を示しその組織, 悪性腫瘍との関係を記述.<br>全身麻酔の統計的研究: 茂木蔵之助 (東京大)  |

- エーテル、クロロホルム麻酔は最良，局所麻酔に全身麻酔の併合は経過良好。  
 進行性肋軟骨壊死の原因及其療法：泉 伍朗（福岡）  
 手術治験例を報告，其原因菌，細菌の毒力を動物実験。  
 腫瘍状肋膜結核に就て：中山 茂樹（東京）  
 胸廓食道の手術的療法に就て：尾見 薫（大連）  
 食道切除縫合，食道胃縫合，食道移植を実験犬で行う。  
 気管支喘息に対するフロイド氏手術の効果に就て：赤岩 一郎（福岡）  
 肺壞疽の外科的療法補遺：河田 直吉（福岡）  
 肺臓の摘出，附代償性肺臓肥大：河村 叶一（京都）  
 喀血例（肺損傷）の治験例。  
 肺臓手術後の瓦斯交換及血液変化に就て：茂木蔵之助（東京）
- 3～4 15 肺疾患に対し横隔膜神経及肋間神経切断の影響に就て：尾見 薫（大連）  
 肺臓の化膿性疾患，結核に対し4症例の報告。  
 食道切開摘出せる異物例：長宗我部俊城  
 乳腺切断術に於けるカール・ベック氏切式に就て：村上 幸多（東京）  
 乳腺に於けるページェット氏病に就て：田 半作（岡山）  
 乳腺に発生せる肉腫性癌腫：高野 直吉（東京）  
 肺疾患外科療法：尾見 薫（大連）  
 肺刺創治験：尾見 薫（大連）  
 肺臓の摘出に関する実験的研究：河村 叶一（京都）  
 残存肺の肉眼的，顕微鏡的变化，心臓の状態の結果，シェーマーカーの陽圧装置の得失を  
 列挙。  
 胸腔外科補遺：河田 直吉（福岡）  
 チーゲル氏陽圧装置による手術，肺壞疽3例，胸部食道癌5例，噴門癌1例。
- 4～5 16 肺放射線状菌病：平野 友作（三重）  
 3症例報告（外科的治療）  
 肺結核其他，胸腔疾患に対し部分的肋膜外面形成術（肺臓虚脱療法）を試みたる2，3の報  
 告及該療法の部位方法に関する実験的比較研究に就て：佐々木次郎三郎（沼津）
- 5～6 17 （宿題報告）肺臓外科：尾見 薫（大連）  
 肺気腫，肺外傷，肺化膿症，肺結核，肺腫瘍等各種肺疾患の治療法の紹介，自験症例報告  
 乳腺のカルチノザルコム：有光藤三郎（東京）  
 肺葉結紮の肺動脈及大動脈圧力に及ぼす作用：久野 寧（奉天）  
 肺臓の血量：久野 寧（奉天）
- 6～7 18 肺壞疽の手術的療法に就て：宮川 量（福岡）  
 21例中死亡8，治癒11  
 気胸の成立及黃疸処置に関する実験的並臨床的研究：鈴木寛之助（東京）  
 ボテーン氏吸引器で胸腔内吸引治験例報告，また外傷性気胸についての処置。  
 胸廓腫瘍（縦隔竇）に「レントゲン」療法をなしたる治験例：長町 穆，片田 種介（千  
 葉）  
 肉腫に対する治療が卓効。  
 化膿性心嚢炎：錦織 芳（松江）
- 7～8 19 乳癌の手術的成績に就て：筒井 省二（福岡）  
 118例中3年経過例 108例，再手術4例，術死6例。

- 肋膜骨形成を伴える膿胸に就て：村上 幸多（東京）  
肺組織の創傷治癒機能に就て：宮川 量（福岡）
- 8～9 20 肺結核並に陳旧性膿胸に対する胸廓成形術に就て：森 武美（大津）  
3例の内1例治癒，1例軽快，1例膿胸遺残。
- 9～10 21 胸腔手術後に於ける「ドレナーゼ」に就て：飯島 博（福岡）  
ドレナーゼの原理を物理的に説明。  
肺臓外科に於ける2，3の自家考案器械に就て：佐藤清一郎（東京）  
手術的療法を施せし胸腔内腫瘍に就て：三宅 速（九州）  
12例の報告（食道癌，大動脈瘤，肺癌，肋膜肉腫等）
- 10～11 22 膿胸に対するシェーデ氏手術適応の決定に対する知見補遺：斉藤 眞（愛知医専）  
膿胸の治療の経過，治療法，腔内容量曲線，X線像，さらにペステル氏装置を以て治療せる場合に於ける治癒機転。  
乳腺良性腫瘍の肉腫変性に就て：鈴木平十郎（東京）  
肺剔出の可能性：金谷 卓爾（東京）  
肺壊疽並に肺腫瘍の手術成績に就て：佐藤清一郎（東京）  
肺壊疽6例，腫瘍3例の手術報告，腫瘍は早期発見すべき由
- 11～12 23 手術後肺合併症：萩原 義雄（京都帝大）  
肺炎，肺壊疽，膿瘍，肺水腫，肺栓塞，肺結核の増悪等につき年齢，麻酔法，手術部位，術中の影響について統計的観察。  
肺臓皮様囊腔，肺臓癌及肺壊疽の手術：佐藤清一郎（東京）
- 12～13 24 横隔膜の病理及び生理に関する研究：田中 義雄（愛知医専）  
人工的横隔膜炎，濾過状態，淋巴管系統及び開腹術後の続発性肺炎の発生原因に対する批判。  
結核性胸囲寒性膿瘍の手術就法にて：伊藤 肇（京都帝大）  
手術療法，従来の方法の批判。  
気胸の病的生理に関する知見補遺：隅 鎮雄（九州）  
摘出し得たる肺臓腫瘍の諸例に就て：佐藤清一郎（東京）
- 13～14 25 乳癌の骨転移を来せし2例に就て：滋野井至孝（軍医学校）  
症例と骨転移を来す癌，癌性特発骨折の予後療法。  
陳旧性膿胸の治療方針に就て：伊藤 肇  
肺臓手術の酸素消費量に及ぼす影響の実験的研究：関口 審樹  
肺臓外科手術の治験例：関口 審樹  
人工気胸の健康肺及結核肺に及ぼす作用に就て：尹治 衡  
過圧酸素吸入の血液成分に及ぼす影響に就て：泉山 幸吉
- 14～15 26 陳旧性膿気胸に対するシェーデ氏胸廓切除術の遠隔成績：鶴澤 正雄（九州帝大）  
膿胸 120例中陳旧性に移行したものの50例，内38例にシェーデ氏手術施行，原因菌の分析，全治20例，未治4例，不治1例，就労17例。  
乳癌の統計的観察，特にその手術の遠隔成績に就て：横山 健夫（九大）  
215例についての発生，転移，手術成績，組織学的検査について記述。  
喘息の外科的療法，特に頸部交感神経切除とフロイド氏手術との比較及後者の遠隔成績に就て：石山福二郎（九大）  
膿胸治療の機転に就て：西尾 重（愛知医大）  
肺臓手術の実験的基礎：工藤 八郎（京都）

- 一側肺全別出に関する実験的研究：日下部且三（金沢医大）  
 家兔肺臓切除別出術後の呼吸及び血液の変常に就て：中村 愛助（九大）  
 家兔肺臓切除別出後に於ける胸壁の変形及び内容臓器の変位と其子防に関する実験的研究：  
 中村 愛助（九大）  
 以上実験的肺別出術に関して過圧開胸か平圧開胸か鳥潟，後藤，佐藤，大野，茂木，隅，  
 角田，尾見，三宅諸氏が討論。
- 大正15～昭和2 27 心臓外科の実験的研究：石山福二郎，角田 博（九大）  
 心囊の外科的意義（1）  
 開放性気胸の呼吸運動に関する実験的研究：泉山 幸吉（東北帝大）  
 胸膜X線照射の実験的研究：坂田 敬之（東京帝大）  
 胸膜癌手術治験例並びに其病理組織所見：関口 蕃樹（仙台）  
 平圧開胸について関口，鳥潟氏の討論。  
 肺結核の手術的療法に就て：石川 昇（金沢）  
 胸腔外科手術に於ける人工呼吸装置：由茅二五四（京大）  
 （宿題報告）結核に対する交感神経切除術実験的批判：小沢 凱夫，清水源一郎（大阪）
- 2～3 28 肺臓代償機能に関する組織学的研究：佐藤 隆房（東北帝大）  
 肺臓別出による残存肺の代償機能（予備能力）により充分で肺組織，肺胞の組織的变化を  
 記述。  
 心臓外科の実験的研究，心囊の外科的意義（2）：石山福二郎他（九大）  
 前縦隔竇切開術の適応症に就て：石川 昇（金沢）  
 両側開胸術に応用せられるべき補助呼吸装置に関する実験的研究：由茅二五四（京大）  
 肺臓手術に於ける胸壁の処置に就て：佐藤清一郎（東京）  
 結核性膿胸に対する胸廓成形術に就て：原 守蔵（大阪）
- 3～4 29 気管支喘息の外科的療法に就て：柳 壯一他（北海道帝大）  
 出血性乳房に就て：西山 逸平（岡山医大）  
 膿胸の治療方針に就て：広瀬 研之（京都帝大）  
 気胸に関する実験的研究：角田 博（九州帝大）  
 平圧開胸術の下に行われたる洞横隔膜の噴門成形術の一治験例：大沢 達（京都帝大）  
 胸廓成形術に関する実験的研究，特に其「リビヨドール」レントゲン像影観察に就て：佐藤  
 隆房（東北帝大）  
 肺結核の手術成績並に其適応症に就て：石川 昇（金沢医大）
- 4～5 30 肺門部神経支配に関する実験的研究並にその臨床的意義：日下部且三（金沢医大）  
 手術的肺臓欠損の心臓に及ぼす影響：佐藤 隆房（岩手）  
 胸部損傷に関する臨床的並に実験的研究：角田 博（大阪）
- 5～6 31 （宿題報告）肺結核外科：石川 昇（金沢医大）  
 肺結核の発生進転，病理，他臓器との関係，手術適応，各種手術方法（空洞切開，肺葉切  
 除，血管結紮，剝離術，交感神経切断，横隔膜神経捻除，気胸，胸廓成形，充填術，さら  
 に各術式の組合せ）手術成績について記述。  
 膿胸の療法に就て：竹居 勇（千葉医大）  
 排膿法とその成績について報告。  
 平圧開胸術の下に行われた肺結核の手術的療法に就て：横田 浩吉他（京都府医大）  
 局麻と全麻の併用，人工気胸を確実に行う。  
 平圧開胸開腹術による食道下部，胃上部手術に就て：大沢 達（京都帝大）

- 5例の報告，食道空腸端側吻合施行，  
肺臓癌の手術例に就て：河石九二夫他（愛知医大）  
2例報告，ブロンコグラフィー，立体的レ線観察の必要，  
気管支喘息の外科：玉置 俊雄（北海道帝大）  
頸部交感神経切除の呼吸に及ぼす影響について，  
癒着性心嚢炎手術例：篠原 一幸（北海道帝大）
- 6～7 32（宿題報告）輸血：桐原 真一（愛知医大）  
血液型不適合の症状，輸血法，副作用について，  
肺結核に対する肋膜外胸廓成形術に就て：土井 保一（東京帝大）  
14例に施行，全例1～11肋骨切除，  
平圧開胸術の下に行われた肺結核の手術的療法に就て：横田 浩吉他（京都府医大）  
横隔膜神経捻除術の経験：武鉦 宣他（大阪医大）
- 7～8 33 気管支性喘息に対する植物性神経手術の適応症決定：橋本 義雄（名古屋大）  
先づ迷走神経切斷を行い効なき場合は更に交感神経切除を行う，  
気管支喘息患者の気管，気管支腔内径並に頸部交感神経切除術のその管内径に及ぼす影響に  
就て：大立目 東（北海道帝大）  
解剖学的要綱，健康肺気管，気管支内径，患者の気管，気管支内径，発作間歇時の観察，  
発作時の観察，アドレナリン注射による影響，神経切除時の内径の変化について，  
気管支喘息の外科：王真 俊雄（北海道帝大）  
交感神経切除術の肺血管に及ぼす影響について，  
（宿題報告）食道外科：瀬尾 貞信（千葉医大）  
食道の基礎，病理，生理，解剖学的提要，臨床外科では食道疾患の症例提示，診断法，胃  
瘻造設術，食道癌の手術法，手術成績に就いて解説，  
実験的食道外科：佐久間嘉一（千葉医大）  
食道縫合術，胸部食道に到達する術式について，  
（宿題報告）食道外科：大沢 達（京都帝大）  
食道解剖生理，開胸による諸実験（肺機能，ガス交換，心機能，肋膜感染問題），手術の影  
響（迷走神経，横隔膜），臨床的には診断法（X線食道鏡），手術々式，その他食道疾患につ  
いて，
- 8～9 34 肺臓癌手術治験：横田 浩吉他（京都府医大）  
平圧開胸術及び肺葉の部分切除に就て，  
肺結核，特に空洞を有する結核肺の手術方針に就て：庄山 省三
- 9～10 35 後縦膈竇撮影に就て：鋤柄 秀一（千葉医大）  
トトロラストによる造影，
- 10～11 36 気管支皮膚瘻孔の2例：卜部美代志（東京帝大）  
格子状肺（ギッテルルンゲ）の臨床的並に組織学的知見：佐藤清一郎他（東京医専）  
平圧開胸肺剝離術に関する知見補遺：佐谷 秀雄（京都府医大）  
開胸後の胸膜癒着に就ての実験的研究，
- 11～12 37（宿題報告）気管支撮影法：佐藤清一郎（東京医専）  
手技，正常及び病的気管支の運動，種々薬剤及び外科の手術による気管支への影響，各疾  
患における気管支造影像（1,020例）  
余等の喘息手術に就て：小沢 凱夫他（大阪帝大）  
一側気管支閉塞が瓦斯交換，血液瓦斯，特に両肺の個別流量に及ぼす影響に就て：来須

- 正男他（京都府医大）  
中心性格子肺に就て（映画供覧）：篠井 金吾（東京医専）
- 12～13 38 実験的充実性肺虚脱に関する研究：小田源太郎（岡山医大）  
充実性肺虚脱の肝臓，網内系細胞系，肺臓糖中間代謝並に「インヂカン」形成に及ぼす影響．肺虚脱の肺の組織学的所見．  
肺炎及び肺膿瘍に於ける肺血管レ線像に関する実験的研究：浅井高昇二  
家兎肺内に家兎腫瘍乳剤を注入し，形成した肺炎及び肺膿瘍に対しての肺血管の態度を研究．  
呼吸曲線に関する問題：中山 恒明（千葉医大）  
術後充実性肺虚脱の成生機序に関する実験的研究（殊に腹内急性疾患との関係について）：  
野間 安則（岡山医大）  
諸種結核性疾患の保存的及び手術的療方は個体の結核の運命に如何に影響するか：深井 忠作（新潟大）  
外科的結核症の研究（第1回報告）：都築 正男（東京帝大）  
心臓外科の臨床的経験と実験的知見補遺：榊原 亨（岡山）  
術後肺炎と血栓形成に関する実験的研究：久本 正人（九州帝大）  
一側肺動脈或は肺静脈の血行阻止が肺機能に及ぼす影響について：来須 正男他（京都府立医大）  
上葉結核に対する複合肺炎萎縮術の適応と効果について：武田 義章（大阪帝大）  
肺葉全切除術に関する研究：小沢 凱夫（大阪帝大）  
（宿題報告）膿胸：膿胸に関する報告を以下の七氏が行う．  
膿胸の成因に関する実験的研究：三羽 兼義他（大阪市）  
臨床統計並に実験的研究に立脚せる急性膿胸治療法の検討：今津九右衛門（京都府）  
膿胸の治療経過中に於ける膿汁の研究：斉藤 正（東京帝大）  
陳旧性膿胸に於ける肋骨変化：田上幸治郎（金沢医大）  
吾教室に於ける膿胸の統計的観察：橋本 泰（九州帝大）  
膿胸遺残死腔の理想的治癒について：青柳 安誠（京都帝大）  
膿胸の治療について：本名 文任他（台北医院）
- 13～14 39 （宿題報告）肺壞疽：佐藤清一郎，篠井 金吾（東京医専）  
肺壞疽 350例，肺化膿症解剖屍体 635例につき病因，臨床及び治療について論述，肺壞疽と肺化膿症を区別し，臨床症状，治療法，特に手術の時期は個々によって決定し，時期を失わざらんことが外科療法の要点である．  
（宿題報告）急性肺虚脱：石山福二郎（岡山医大）  
臨床例と実験成績を発表，虚脱の病理，症候，診断，鑑別診断，経過と合併症，治療法，予防法について論述．  
（宿題報告）肺切除：小沢 凱夫（大阪帝大）  
肺の生理，解剖，喘息の治療法，呼吸障害の病態，肺切除の限度を動脈血酸素飽和度で測定，50%（慢性）以下では呼吸困難が生ずる，麻酔についても述べ，肺癌，肺結核，肺膿瘍，気管支拡張症について症例を提示．  
生体肺動脈撮影法及び其の臨床的応用：藤野 重雄他（名古屋医大）  
原発性結核性膿胸の治療方針に就て：青柳 安誠（京都帝大）  
肺上葉炎の外科的療法：武田 義章（大阪帝大）
- 14～15 40 肺動脈の「レ」線学的研究：石川 利夫（名古屋医大）

- 肺動脈の神経支配に就ての実験的並びに臨床的研究。  
肺動脈の「レ」線学的研究：今村 勲（名古屋医大）  
肺動脈の病的像に就て。  
（宿題報告）陳旧性膿胸：青柳 安誠（京都帝大）  
陳旧性の定義，解剖，生理学的変化，治療法について。  
外科的虚脱療法を施せる肺結核患者の遠隔成績に就て：神戸 恒夫他（金沢医大）  
心臓鏡に就いて：榊原 亨他（岡山）  
臨床的に応用（僧帽弁不全症例）
- 15～16 41 肺循環並に血液瓦斯より見たる肺機能に関する研究：徳元 卓三（岡山医大）  
気管支瘻を伴える陳旧性膿胸の有茎性筋肉弁充填に依る治験例に就て：青柳 安誠（京都帝大）  
心臓内手術の実験的研究：榊原 亨（岡山）  
心臓鏡下に心臓内手術，異物摘出，弁膜切開。  
心臓縫合並に縫合糸に就て：津田 次郎（岡山）
- 16～17 42 （宿題戦傷）戦傷心臓留弾に就て：永江 大助他（軍医学校）  
心臓外科に関する実験的研究：隆山 以文（大阪帝大）  
心臓内手術に対する三原則（如何なる条件で切開すべきか，如何なる方法で心臓に達するか，如何なる部位を切開すべきか）  
肺結核患者に於ける脊椎弯曲の治療的意義：武田 義章（大阪帝大）  
肺結核症に於ける胸廓成形術の基礎代謝に及ぼす影響に就て：加納 保之（村松晴嵐荘）
- 17～18 43 心臓鏡による僧帽弁閉鎖不全症手術の臨床経験：榊原 亨他（岡山）  
肺壞疽の観血的療法の適応と其の遠隔成績：篠井 金吾（東京医専）  
肺萎縮術に於ける手術量決定法に関する研究：武田 義章（大阪帝大）  
最近に於ける肺結核外科の動向に就て：都築 正男（東京帝大）
- 18～19 44 胸廓成形術後の胸壁動揺に関する研究：加納 保之（村松晴嵐荘）  
130例の胸成術者を対象。  
胸廓成形術（semb 氏法）の肺結核患者に及ぼす影響：宮本 忍他（東京療養所）  
57例を対象に末梢血液，肝機能に及ぼす影響をみる。  
肺結核症に対する撰択的肺成形術の治療効果に就て：都築 正男他（東京帝大）  
182例の遠隔成績結果を発表。  
心臓の「レ」線断層動影法に就て：中山 恒明他（千葉医大）
- 19～20 45 胸廓成形術の肺結核治療効果に関する批判：加納 保之他（村松晴嵐荘）  
難治性瘻孔，特に混合感染を来せる結核性瘻孔の一次的縫合閉鎖に就て：河合 直次（千葉医大）  
縦隔竇に於ける奇静脈レ線陰影の診断なる意義，特に奇静脈撮影法に就て：鈴木 次郎（千葉医大）
- 20～21 46 実験的ショック時に於ける胸廓並に気管支のレ線学的変化に就て：山田 真治他（名古屋帝大）  
頸部腺別出に依る気管支喘息の療法：中山 恒明他（千葉医大）  
結核性肺空洞症に対する有茎性筋肉弁充填術：青柳 安誠他（京都帝大）  
結核性巨大肺空洞に対する空洞吸引術と胸廓成形術との積極的合併療法の価値に就て：海老名敏明（東北帝大）